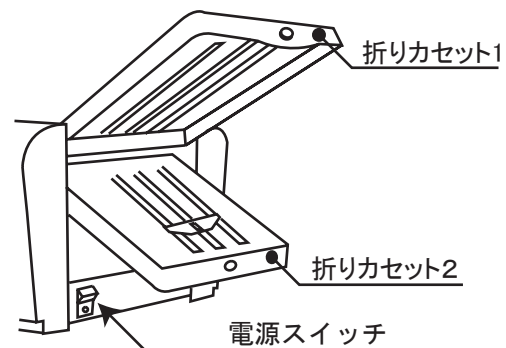


操作方法

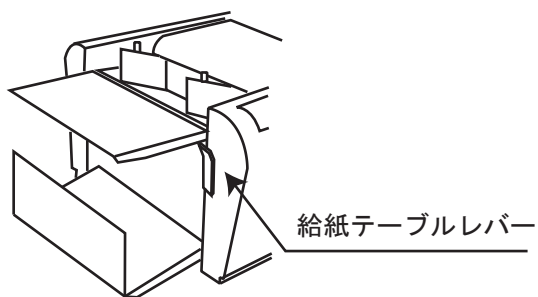
紙折機 LF-821N 簡易マニュアル

①電源スイッチを入れます。

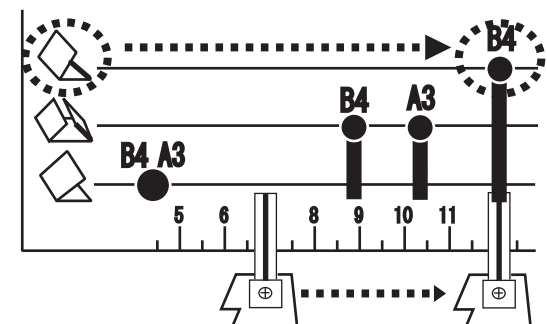
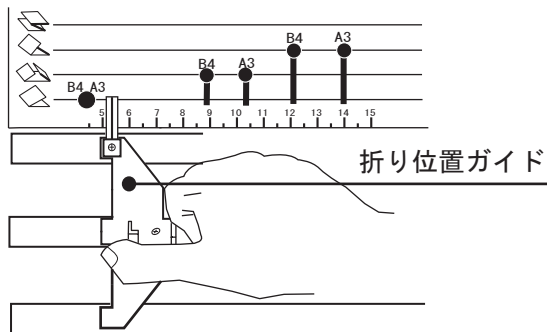


②用紙をセットします。

③給紙テーブルレバーを下げて給紙テーブルを上げます



④折り位置設定
カセット1・2の折り位置ガイドを中央のレバーを摘み、移動させます。

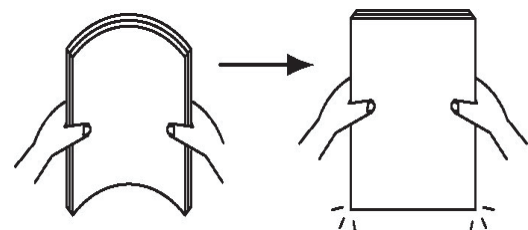


折り形と用紙サイズの交差したポイント●に折り位置ガイドを移動させます。

⑤〔テスト〕ボタンで折りを確認

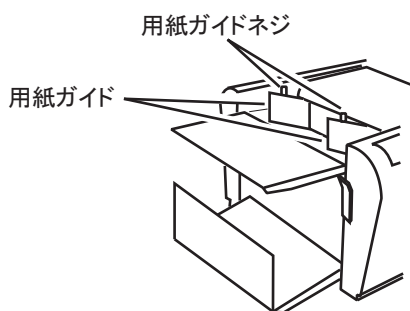
⑥テストで折り形がOKであれば、〔スタート〕ボタンで連続折りを始めます。

<用紙セットのポイント>



<用紙のさばき方>

- ①用紙の両端をつまみます。
- ②用紙を曲げて空気を入れます。
(軽く力をゆるめ、曲げてから再度用紙をつまむ)
- ③上下に用紙を揃えます。



・用紙ガイドの間に隙間なく用紙を密着させ、用紙ガイドネジを締めます。

・印刷直後の用紙、カールした用紙は紙づまり、重ね送り、スリップ、用紙のシワの原因になりますので、カールを直し必ず乾いてから使用してください。

<折りズレの調整>

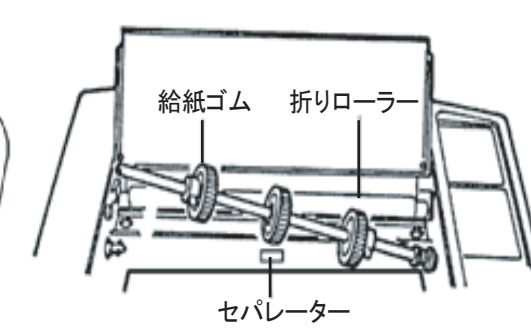
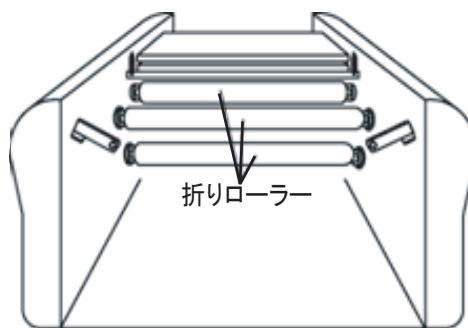
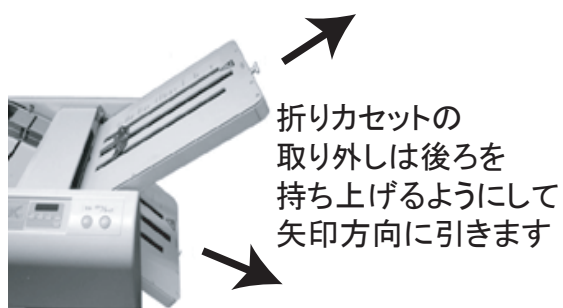
○下図を参考にして、微調整ツマミで折りズレを調整。

※折り形の図は排紙テーブルに出てきた用紙を操作パネル側から見た状態で表しています。

折り形		2つ折	観音折	内3つ折	外3つ折	4つ折り	片袖折
カセット1	紙折りの状態 (実線の長さをカセット1で調整します)						
	実線部が長い場合		短◎	短◎	短◎	短◎	短◎
	実線部が短い場合		◎長	◎長	◎長	◎長	◎長
カセット2	紙折りの状態 (実線の長さをカセット2で調整します)						
	実線部が長い場合	短◎	短◎	短◎	短◎	短◎	短◎
	実線部が短い場合	◎長	◎長	◎長	◎長	◎長	◎長

<清掃>

折りズレ、しわ、紙詰まりが多発する場合は、ローラー部の清掃をして下さい。
折りカセットを外し、専用クリーナーを布につけ、折りローラー・給紙ゴム・セパレーターを清掃します。



<折りカセットの取付け方法>

①先に折りカセット2を取付けます。



矢印の方向に斜め45度程度の角度で差込みます。

②次に折りカセット1を取付けます。



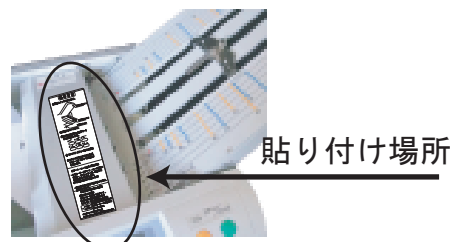
本体両側にある丸印のガイドに折りカセット1を差込みます。



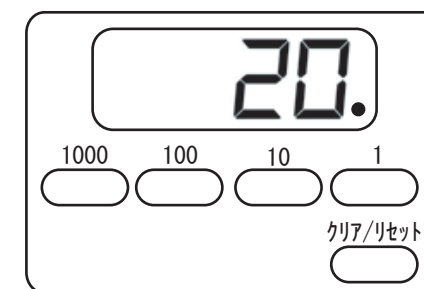
折りカセット1側面の角穴が、本体サイドカバーの面に丁度合うように押し込んでください。

※左のキリトリ線に沿って切り、安全カバーに貼り付けて「簡易マニュアル」としてご使用いただけます。

(両面テープ等で貼り付けてご使用下さい)



<枚数を指定して折る場合>



※折り枚数を指定したい時は「クリア/リセット」ボタンを押し、カウンターを「0」にしてから「数字キー」で入力して下さい。

図は「10」を2回押して20枚に設定した場合の表示。

修理・その他ご不明な点については、お買い求めの販売店もしくはお客様相談室へご連絡ください。

お客様相談室
〒164-0003 東京都中野区東中野2丁目6番11号
TEL フリーダイヤル 0120-074416
FAX フリーダイヤル 0120-402539



本社 〒164-0003 東京都中野区東中野2丁目6番11号
TEL03-3369-1111

東京本店 〒103-0004 東京都中央区東日本橋2丁目24番14号
TEL03-3865-1211

大阪本店 〒577-0003 大阪府東大阪市長田中3丁目5番44号
TEL06-6747-5681